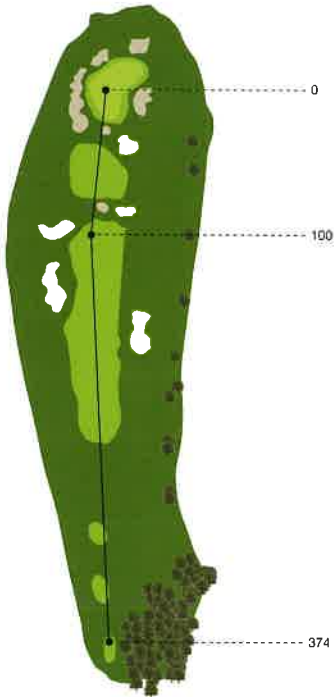




夏泊ゴルフリンクス

青森県

18H/Par4/374y(Green T.)



フェアウェイは比較的広いが、うねっているため、落とし場所によってバンカーに入るケースがある。グリーン周辺もバンカーが多く、風をしっかり読み、正確なショットでいかにバンカーを回避するかが、このホールの運命を分ける。

本州最北端に位置するゴルフの理想郷 スコティッシュコースならではの 大自然と対峙する本格派リンクス

JGTO(日本ゴルフツアー機構)ツアープロの中島 徹が、一度はプレーしてみたい全国の名門コースを訪れる連載企画。今回は、ゴルフ発祥地・スコットランドと気候風土が酷似した日本屈指のシーサイドコース、青森県の夏泊ゴルフリンクスを紹介します。

今回、夏泊ゴルフリンクスを初めて訪れました。評判を聞いていましたが、まさにリンクスそのもの。全英オープンの中継で映し出される光景が、眼前に広がるのは圧巻です。青森県の津軽半島と下北半島に囲まれた陸奥湾に突き出た、夏泊半島の海沿いにある小高い丘に位置しており、素晴らしい景観を堪能できる絶景ポイントがいくつも存在し、プレーヤーの目を楽しませてくれます。ゴルフの発祥地・スコットランドと気候が酷似していることもあり、ゴルフの原点である「あるがまま」の理念をそのままに造られているのが特徴です。自然の地形を生かしたフェアウェイ、ポットバンカー、コース脇にはフェスキュー(フェスク)という洋芝がいくつも群生しています。

そこへ、海から吹く強烈な風がプレーヤーを苦しめます。600ヤードを超える16Hパー5は、海の方角に向かって攻めるため、日によって完全なアゲンストに。さらに17Hパー3は打ち下ろしとなり風の影響を受けやすく、ティーショットでグリーンに乗せるのは至難の業でしょう。18Hはフェアウェイが大きくうねり、しかも計11個のバンカーが口を開けて待つっており、ショットに高い精度が求められる。プレーヤーの勇気が試されるホールが続く、タフなコースといった印象です。とはいえ、ここは都会の喧噪から離れ、大自然を満喫できる数少ないコースだけに、リピーターが多いというのも頷けます。私もいつかリゾートできたらと思っています。



夏泊ゴルフリンクス

所在地 青森県東津軽郡平内町

東田沢10-230

Tel. 017-759-2211

開場日 1992年(平成4年)6月15日

設計者 海老原寿人

コースレート 72.4(B.T.)

JGTOツアープロ 中島 徹



なかじま とおる / 信濃ゴルフ倶楽部所属。1984年、山梨県生まれ。早稲田大学卒業後、2007年プロ入り。2017年「日本ゴルフツアー選手権」12位タイ。JGTOレギュラーツアーの賞金ランク上位を目指し、現在奮闘中。中島真弓プロは8歳上の姉。



1 (P.61) 16H Par5は、正面の海に向かってティショットを放つ。強烈な逆風が吹くとかなり苦しめられる。
2 18H Par1の夕景。グリーンからフェアウェイ方向を振り返ると、大きくうねったアンジュレーションが陰影となり、プレーヤーを魅了する。大自然の鼓動が聞こえてきそうな見事な風景だ。
3 18H Par1のボットバンカーからショットをする中島 徹。ひとたびバンカーに入ると、ピンを直接狙うのが難しくなるので要注意。

2
3

「自然と対峙して乗り越える試練こそ、ゴルフの原点」

